



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月30日

上場会社名 西芝電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6591 URL <http://www.nishishiba.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務統括責任者 (氏名) 中村 尚久

TEL 079-271-2372

四半期報告書提出予定日 2019年10月30日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	9,204	16.5	325		343		222	
2019年3月期第2四半期	7,900	10.0	824		772		543	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 245百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 478百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	5.69	
2019年3月期第2四半期	13.91	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	25,446	12,513	49.2
2019年3月期	25,958	12,335	47.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 12,513百万円 2019年3月期 12,335百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		2.00	2.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	8.2	840		870		610		15.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	39,176,000 株	2019年3月期	39,095,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	57,483 株	2019年3月期	57,393 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	39,060,723 株	2019年3月期2Q	39,037,607 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境及び企業収益が改善されるなど緩やかな回復が続きました。一方、海外においては、米中貿易摩擦や、各国の政策運営、英国のEU離脱問題、地政学リスクの高まり等、先行き不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は9,204百万円（前年同四半期比16.5%増）、営業利益は325百万円（前年同四半期は営業損失824百万円）、経常利益は343百万円（前年同四半期は経常損失772百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は222百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失543百万円）となりました。

当社の属する事業のうち造船及び船舶関連市場においては、船舶の供給過剰に起因する需給ギャップは依然改善されていませんが、低迷が続いていた海運マーケットは底を脱し、環境規制による代替需要等に支えられ今後緩やかに回復していくものと考えられます。一方、発電・産業システム市場においては、電力・ガスの自由化によるエネルギー市場環境、電力需給の変化はあるものの、2018年に閣議決定した第5次エネルギー基本計画による再生可能エネルギーへの転換、震災・防災対策の分散型電源の普及促進等は継続していくものと考えております。このような状況のなか、売上高は前期を上回り、損益につきましても、増収および品質確保のための費用の減少が影響し、前期を上回りました。

当社グループは単一セグメントであるため、主要製品別に業績を示すと次のとおりであります。

船舶用電機システムについては、電気推進システム等の高付加価値製品が増加したことにより、売上高は3,915百万円（前年同四半期比15.9%増）となりました。

発電・産業システムについては、再生可能エネルギーへのシフトを背景に中小水力発電機が好調に推移したことにより、売上高は5,288百万円（前年同四半期比16.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

ア. 資産

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ488百万円減少し、12,683百万円となりました。主な減少要因は、現金及び現金同等物（現金及び預金、グループ預け金）の減少400百万円、売上債権（受取手形及び売掛金、電子記録債権）の減少940百万円等であります。一方、主な増加要因は、たな卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）の増加805百万円であります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ22百万円減少し、12,762百万円となりました。これは主に、投資その他の資産が35百万円減少したことによります。

以上により、資産合計は前連結会計年度末に比べ511百万円減少し、25,446百万円となりました。

イ. 負債

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ496百万円減少し、7,255百万円となりました。主な減少要因は、支払手形及び買掛金の減少326百万円、未払金の減少504百万円等であります。一方、主な増加要因は、その他流動負債の増加350百万円であります。

固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ193百万円減少し、5,677百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債が173百万円減少したことによります。

以上により、負債合計は前連結会計年度末に比べ689百万円減少し、12,932百万円となりました。

ウ. 純資産

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ178百万円増加し、12,513百万円となりました。株主資本は、譲渡制限付株式報酬として新株を発行したことにより、資本金及び資本剰余金がそれぞれ5百万円増加しております。また、剰余金の配当78百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益222百万円等を反映し、155百万円の増加となっております。

以上により、自己資本比率は、前連結会計年度末の47.5%から49.2%へと1.7%増加いたしました。

② キャッシュ・フロー

ア. 現金及び現金同等物

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ400百万円減少し、1,828百万円となりました。

イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は222百万円（前年同期は643百万円の獲得）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益343百万円、減価償却費170百万円、売上債権の減少額939百万円等であります。一方、主な減少要因は、退職給付に係る負債の減少額221百万円、たな卸資産の増加額805百万円、仕入債務の減少326百万円、その他の流動負債の減少額232百万円等によるものであります。

ウ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は108百万円（前年同期は141百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出80百万円、無形固定資産の取得による支出26百万円等を反映したものであります。

エ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は67百万円（前年同期は118百万円の使用）となりました。主な増加要因は、株式の発行による収入10百万円であります。一方、主な減少要因は、配当金の支払額77百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しておりますので、現時点においては2019年8月26日に公表いたしました通期業績予想は変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	193,195	342,926
グループ預け金	2,036,065	1,485,796
受取手形及び売掛金	6,544,323	5,636,752
電子記録債権	1,518,434	1,485,796
商品及び製品	741,237	924,672
仕掛品	1,825,923	2,424,416
原材料及び貯蔵品	145,262	168,800
その他	178,960	222,958
貸倒引当金	△11,204	△8,784
流動資産合計	13,172,198	12,683,336
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,215,336	8,214,072
その他(純額)	2,567,697	2,561,382
有形固定資産合計	10,783,034	10,775,454
無形固定資産	36,087	56,452
投資その他の資産	1,966,697	1,931,074
固定資産合計	12,785,819	12,762,982
資産合計	25,958,017	25,446,319
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,254,982	4,928,195
未払金	1,343,219	839,065
未払法人税等	50,786	32,040
引当金	250,842	254,187
その他	851,827	1,202,076
流動負債合計	7,751,657	7,255,565
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	2,449,897	2,449,510
引当金	53,250	6,650
退職給付に係る負債	3,348,203	3,174,569
資産除去債務	19,796	20,007
その他	-	26,504
固定負債合計	5,871,148	5,677,242
負債合計	13,622,806	12,932,807

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,232,562	2,237,989
資本剰余金	500,062	505,408
利益剰余金	4,507,955	4,652,929
自己株式	△10,076	△10,088
株主資本合計	7,230,504	7,386,238
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,378	8,479
土地再評価差額金	5,556,304	5,555,426
為替換算調整勘定	△25,246	△27,368
退職給付に係る調整累計額	△436,729	△409,265
その他の包括利益累計額合計	5,104,706	5,127,272
純資産合計	12,335,211	12,513,511
負債純資産合計	25,958,017	25,446,319

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	7,900,149	9,204,417
売上原価	6,459,617	7,583,532
売上総利益	1,440,531	1,620,884
販売費及び一般管理費	2,265,397	1,295,109
営業利益又は営業損失(△)	△824,865	325,774
営業外収益		
受取利息	14,326	998
受取配当金	1,928	4,166
不動産賃貸料	16,114	16,114
その他	24,238	3,132
営業外収益合計	56,608	24,411
営業外費用		
固定資産除却損	2,813	4,747
その他	1,584	2,346
営業外費用合計	4,397	7,094
経常利益又は経常損失(△)	△772,655	343,092
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△772,655	343,092
法人税、住民税及び事業税	7,814	11,012
法人税等調整額	△237,438	109,907
法人税等合計	△229,624	120,920
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△543,030	222,171
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△543,030	222,171

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△543,030	222,171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,197	△1,899
為替換算調整勘定	△1,957	△2,121
退職給付に係る調整額	56,859	27,464
その他の包括利益合計	64,099	23,443
四半期包括利益	△478,931	245,614
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△478,931	245,614
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△772,655	343,092
減価償却費	171,940	170,984
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,776	△2,420
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△134,361	△221,792
その他の引当金の増減額(△は減少)	△33,113	△43,255
受取利息及び受取配当金	△16,255	△5,164
有形固定資産除却損	2,813	4,747
売上債権の増減額(△は増加)	2,072,259	939,793
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,059,434	△805,981
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△124,781	△40,501
仕入債務の増減額(△は減少)	83,691	△326,440
その他の流動負債の増減額(△は減少)	436,881	△232,918
その他	△5,365	26,976
小計	618,843	△192,880
利息及び配当金の受取額	16,255	5,164
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	8,413	△35,037
営業活動によるキャッシュ・フロー	643,512	△222,753
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△146,691	△80,275
無形固定資産の取得による支出	△272	△26,196
投資有価証券の取得による支出	△887	△1,210
投資有価証券の売却による収入	9,000	-
その他の支出	△3,849	△3,743
その他の収入	851	2,476
投資活動によるキャッシュ・フロー	△141,850	△108,950
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	-	10,773
配当金の支払額	△116,829	△77,611
その他	△1,411	△794
財務活動によるキャッシュ・フロー	△118,241	△67,633
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,468	△1,201
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	380,951	△400,537
現金及び現金同等物の期首残高	2,275,521	2,229,260
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,656,472	1,828,723

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。